

# 基礎物理学

担当 小野正利  
[onomasat@hoku-iryo-u.ac.jp](mailto:onomasat@hoku-iryo-u.ac.jp)

## 第2回 (2)

### 教科書

- (1) 「基礎物理学」
- (2) <http://www.hoku-iryo-u.ac.jp/~onomasat/>
- (3) <http://cms.hoku-iryo-u.ac.jp/~moodle/>

## 携帯出欠システム (MoCo)

QRコード



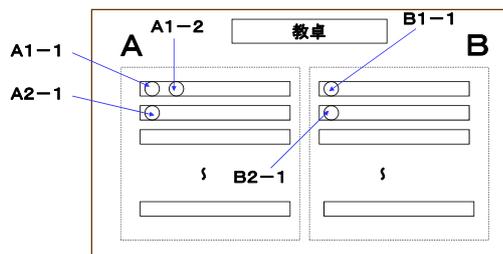
URL

<http://milkyway.hoku-iryo-u.ac.jp/moco/>

<http://milkyway.hoku-iryo-u.ac.jp/moco/teacher.html>

### 1. 座席の確認

- A2-1 → セクター: A、縦: 2、横: 1
- B1-2 → セクター: B、縦: 1、横: 2



### 2. 鍵 : 出欠確認時に指定する番号を入れます。

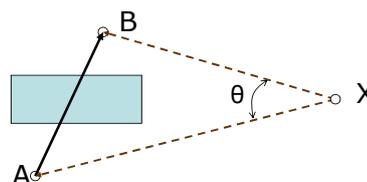
## 今日の鍵

# 501

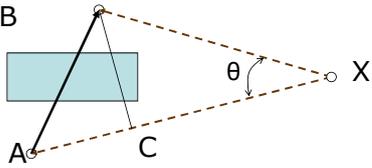


### 訂正

- 5. A地点とB地点の間に建物があってA地点からB地点を直接見ることができない。A地点とB地点の直線距離を求めるためにはどのようにすると良いか。



訂正

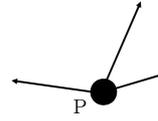


$$\begin{aligned} \overline{AB}^2 &= \overline{AC}^2 + \overline{BC}^2 \\ &= (\overline{AX} - \overline{BX} \cos \theta)^2 + (\overline{BX} \sin \theta)^2 \\ &= \overline{AX}^2 + \overline{BX}^2 - 2\overline{AX} \cdot \overline{BX} \cos \theta \end{aligned}$$

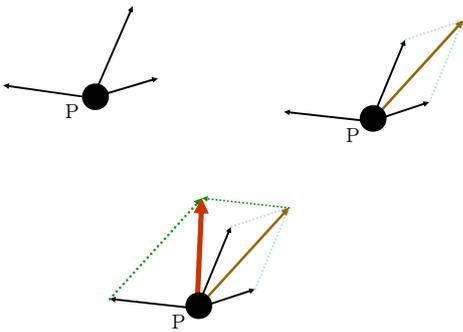
$$\overline{AB} = \sqrt{\overline{AX}^2 + \overline{BX}^2 - 2 \cdot \overline{AX} \cdot \overline{BX} \cos \theta}$$

再確認

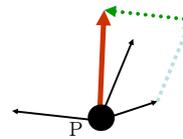
3. Pという物体に図のように3つの力が働いている。これらの力の合力を図示せよ。



再確認



再確認



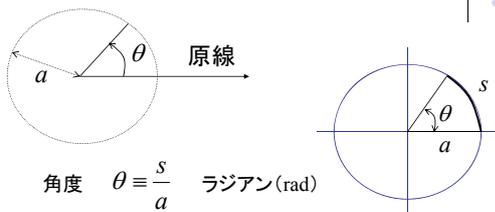


## ◎ 物体の運動 (教科書4頁から)



1. 速度  
速度はベクトル  $\boldsymbol{v}$   
速さはスカラー  $v \equiv |\boldsymbol{v}|$
2. 加速度  
加速度はベクトル  $\boldsymbol{a}$

## 3. 角度と角速度



角度  $\theta \equiv \frac{s}{a}$  ラジアン(rad)

角速度  $\omega = \frac{v}{a}$

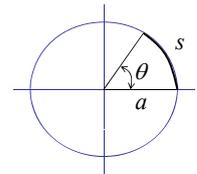
$v$  は円周上の速さ

**例題** 次の角度の換算を下さい。ラジアン (rad)は 度へ換算し、度は ラジアンに換算下さい。

(1)  $\pi \text{ rad} \cong 3.14 \text{ rad} \rightarrow 180^\circ$

(2)  $234^\circ \rightarrow \frac{234^\circ}{180^\circ} \times \pi \text{ rad}$   
 $= 1.30 \times \pi \text{ rad} \cong 4.08 \text{ rad}$

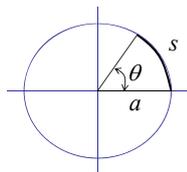
(3)  $2.23 \text{ rad} \rightarrow \frac{2.23 \text{ rad}}{3.14 \text{ rad}} \times 180^\circ \cong 128^\circ$



- (4) 角度が1秒間に2.3 rad 変化する時の角速度  $\omega = 2.3 \text{ rad/s}$ 。

- (5) 2秒間に6.2 rad 変化する時の角速度  $\omega = 3.1 \text{ rad/s}$ 。

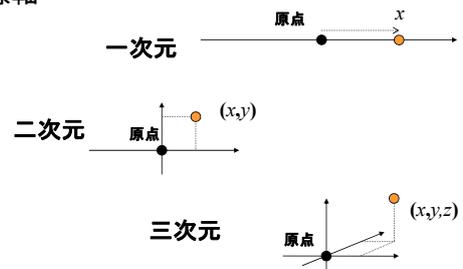
- (6) ある物体が半径  $a = 2 \text{ m}$  の円周上を  $3 \text{ m/s}$  の速さで移動している。円の中心にいる人が見る物体の方向変化 (1秒当たりの角度変化:角速度) は  $\omega = (3 \text{ m/s})/2 \text{ m} = 1.5 \text{ rad/s}$

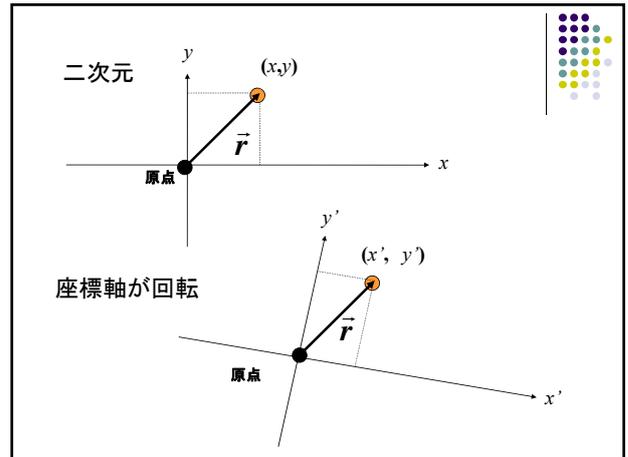
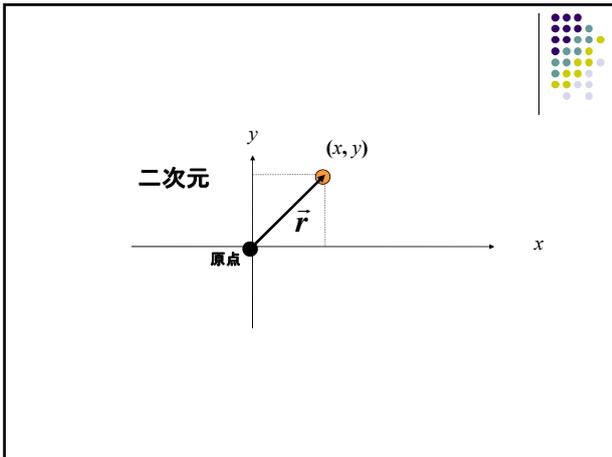


## 4. 座標と座標系



原点  
座標軸

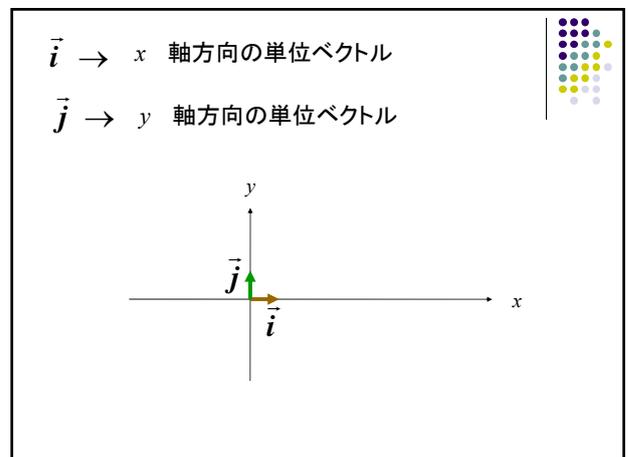
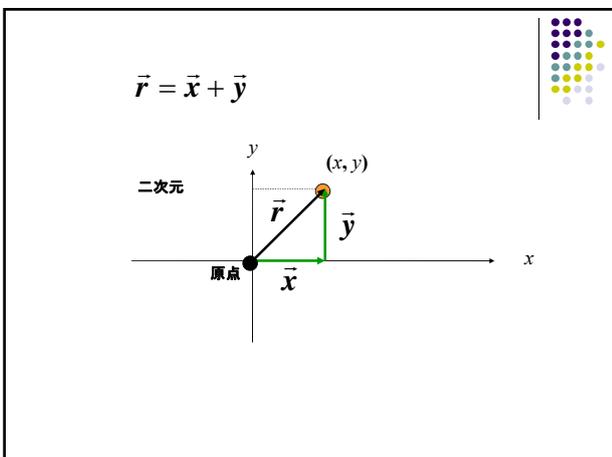
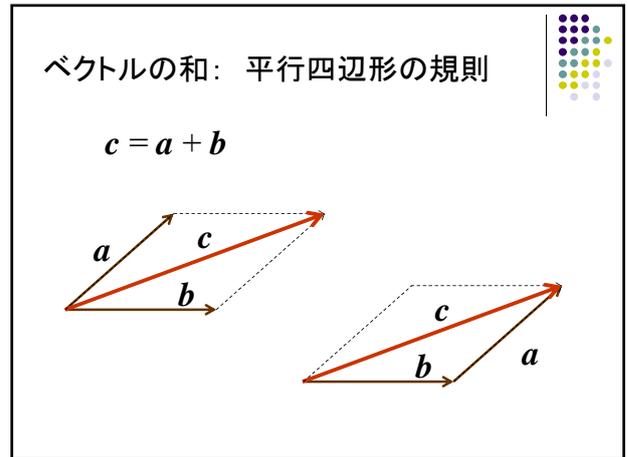




5. ベクトル

スカラー (質量, 温度, など)

ベクトル (速度, 力, 変位, など)



$\vec{x} = x \cdot \vec{i} \quad \vec{y} = y \cdot \vec{j}$

二次元

原点

$\vec{r} = \vec{x} + \vec{y} = x \cdot \vec{i} + y \cdot \vec{j}$

基礎物理学 問題 第2回 (教科書 6~7頁) 例題1

1. 平面上に指定する点を原点 O とする直交座標系を考える。  
 $x$  軸,  $y$  軸 は直交している。  $x$  軸方向の単位の長さのベクトル(単位ベクトル)を  $i$ ,  $y$  軸方向の単位の長さのベクトル(単位ベクトル)を  $j$  で表す。  
 $i$  の成分を  $(1, 0)$  と書くと,  $j$  の成分は  $(0, 1)$  となる。  
 次のベクトルの成分と大きさを求めよ。

(1)  $3i = (3, 0)$ 、大きさ 3  
 (2)  $4j = (0, 4)$ 、大きさ 4  
 (3)  $3i+4j = (3, 4)$ 、大きさ 5  
 (4)  $-3i+4j = (-3, 4)$ 、大きさ 5

基礎物理学 問題 第2回 (教科書 7頁) 例題2

2. 空間内に、指定する点を原点 O とする直交座標系を考える。  
 $x$  軸,  $y$  軸,  $z$  軸 は直交している。  $x$  軸方向の単位の長さのベクトル(単位ベクトル)を  $i$ ,  $y$  軸方向の単位の長さのベクトル(単位ベクトル)を  $j$ ,  $z$  軸方向の単位の長さのベクトル(単位ベクトル)を  $k$  で表す。  
 $i$  の成分は  $(1, 0, 0)$ ,  $j$  の成分は  $(0, 1, 0)$ ,  $k$  の成分は  $(0, 0, 1)$  と書くことができる。  
 次のベクトルの成分と大きさを求めよ。

(1)  $3i = (3, 0, 0)$ 、大きさ 3  
 (2)  $4j = (0, 4, 0)$ 、大きさ 4  
 (3)  $5k = (0, 0, 5)$ 、大きさ 5  
 (4)  $3i+4j+5k = (3, 4, 5)$ 、大きさ  $\sqrt{50} \cong 7.071$

<問題2>

1.  $a = 3i + 7j$ ,  $b = 5i - 3j$   
 のとき次の計算をせよ。

(1)  $a + b = 8i + 4j$   
 (2)  $a - b = -2i + 10j$   
 (3)  $3a + b = 14i + 18j$

スカラー積(内積)

$a \cdot b = ab \cos \theta$

単位ベクトル同士のスカラー積

$i \cdot i = j \cdot j = k \cdot k = 1$   
 $i \cdot j = j \cdot k = k \cdot i = 0$

単位ベクトル → 大きさが 1 のベクトル

基礎物理学 問題 第2回 (教科書 7頁) 例題3

3. ベクトル A とベクトル B のスカラー積は次のように定義される。  
 $A \cdot B = AB \cos \theta$ , ここで,  $\theta$  は A と B の間の角度である。  
 次のベクトルのスカラー積を求めよ。  
 なお, スカラー積はスカラーである。

(1)  $i \cdot i = 1$   
 (2)  $j \cdot j = 1$   
 (3)  $k \cdot k = 1$   
 (4)  $i \cdot j = 0$   
 (5)  $j \cdot k = 0$   
 (6)  $k \cdot i = 0$   
 (7)  $(3i+4j) \cdot 3i = 9$   
 (8)  $(3i+4j+5k) \cdot (3i+4j) = 25$

<問題2>

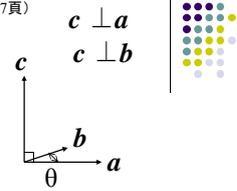
1.  $a = 3i + 7j$  ,  $b = 5i - 3j$   
のとき次の計算をせよ。

(4)  $a \cdot b = 15 - 21 = -6$

ベクトル積(外積) (教科書 6~7頁) 例題2

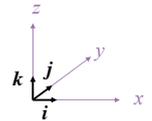
$c = a \times b$

$c$  の大きさを  $c$  で表す,  
 $c = absin\theta$



単位ベクトル同士のベクトル積

$i \times i = j \times j = k \times k = 0$   
 $i \times j = k, j \times k = i, k \times i = j$



単位ベクトル → 大きさが 1 のベクトル

基礎物理学 問題 第2回

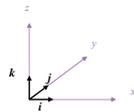
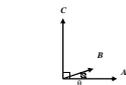
(教科書 7頁) 例題4

4. ベクトルAとベクトル B のベクトル積 C は次のように定義されるベクトルである。  
 $C = A \times B$  ,  $|C| = AB \sin\theta$  。ここで、 $\theta$  は A と B の間の角度であり、  
C の方向は A と B を含む面に垂直、かつA から B へ右ねじを回転するとき  
ねじが進む向きである。次のベクトルのベクトル積を求めよ。

- (1)  $i \times i = 0$   
(2)  $j \times j = 0$   
(3)  $k \times k = 0$   
(4)  $i \times j = k$   
(5)  $j \times k = i$   
(6)  $k \times i = j$

(7)  $(3i+4j) \times 3i = -12k$

(8)  $(3i+4j+5k) \times (3i+4j) = 15j-20i$



<問題2>

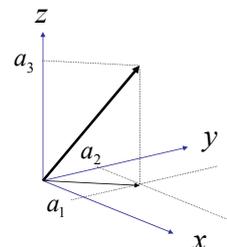
1.  $a = 3i + 7j$  ,  $b = 5i - 3j$   
のとき次の計算をせよ。

(5)  $a \times b = (3i + 7j) \times (5i - 3j) = -44k$

<問題2>

2. ベクトル

$A = (a_1, a_2, a_3)$   
の大きさを成分  
で表せ。



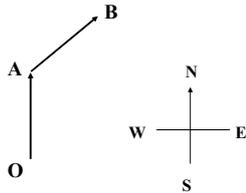
$$|A| = \sqrt{A \cdot A} = \sqrt{(a_1)^2 + (a_2)^2 + (a_3)^2}$$

$$= \sqrt{a_1^2 + a_2^2 + a_3^2}$$

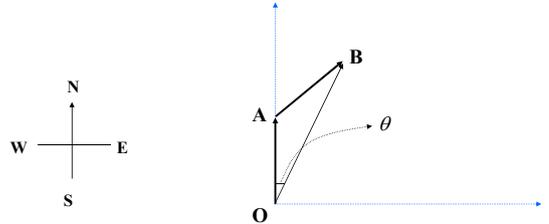


<問題2>

3. 飛行機が O 点上空から真北に 100km 飛んで A 点上空に達し、そこで進路を北東に転じてさらに 100km 飛んで B 点上空に達した。OB 間の距離と  $\angle AOB$  を求めよ。



$$\begin{aligned}\vec{OB} &= \vec{OA} + \vec{AB} = 100\mathbf{j} + (100\cos 45^\circ \mathbf{i} + 100\sin 45^\circ \mathbf{j}) \\ &= (0, 100) + (100\cos 45^\circ, 100\sin 45^\circ) \\ |\vec{OB}| &= \sqrt{(100\cos 45^\circ)^2 + (100 + 100\sin 45^\circ)^2} \\ \cos \theta &= \frac{\vec{OA} \cdot \vec{OB}}{|\vec{OA}| \cdot |\vec{OB}|} = \frac{(100\mathbf{j}) \cdot (100\mathbf{j} + (100\cos 45^\circ \mathbf{i} + 100\sin 45^\circ \mathbf{j}))}{|100\mathbf{j}| \cdot |\vec{OB}|}\end{aligned}$$



4. 流速が毎秒 1 m の川を、秒速 2 m の船でわたる。川と直角に横断するには、船のへさきをどの方向に向けて漕ぐべきか。

